

若い人材たちが輝く環境づくりに注力し

一般建築塗装をはじめ、一般鉄骨塗装、足場工事一式を手掛ける『龍興』。若い人材が多く揃っており、優れた機動力と意欲の高さで全国に取引先や現場が広がっている。そんな若きメンバーを束ねるのは、佐々木社長と黒滝専務。今日は歌手のNANAさんが、社員を大切に歩み続ける社長と吉家営業課長のお二人にインタビューを行った。

起業を目指して努力を続けた日々 19歳で有言実行

——佐々木社長はお幾つの方に、建設業界に入られたのですか。

(佐) 10代半ばの時に、塗装工事会社で修業を始めました。昔からいずれば経営者になりたいという思いを漠然と抱いていましたが、勤務先の社長に憧れて、目標がよりクリアになったんですよ。そ



ゲスト（歌手）
NANA

の社長は昔やんちゃをしていたりして、私と境遇が似ていたのですが、そんな時代のことを全く感じさせないくらい敏腕な経営者として活躍しておられて、「私もこの方のようにになりたい」と仕事に打ち込むようになりました。

——社長のその後の人生を左右する貴重な出会いがあったのですか。何年ほど腕を磨かれたのですか。

(佐) 4年ほど研鑽を積みました。当時私はまだ10代で、周囲の友人たちが遊んでいる間も自分は道具を会社から借りて塗装の技術を磨いていましたね。そうして「どこの現場でも対応できます」と伝え、仕事を任せてもらっていたんですよ。たとえその時はできなくても、「できます」と宣言してすぐに必死に勉強を始めて、現場で完璧にこなすように努めてきました。この習慣は今も続けていて、新たな仕事の獲得に繋がっています。——ストイックに努力されてきたのですか。何歳で独立されたのでしょうか。

(佐) 19歳の時に、一緒に協力してやっていける方を見つけて、個人事業主としてスタートしました。恥ずかしながら具体的な計画はなく、資金も十分ではありませんでしたが、周囲に「独立する」と宣言していたので、やるしかないという思いでした。中には「すぐに失敗するに決まっている」と言う人もいましたが、やってみなければ分からないと挑戦する道を選びました。

——有言実行した社長の行動力は素晴らしいです。

(佐) ありがとうございます。実際に独立してみると、やはり大変でしたが……(苦笑)。それでも支えてくださる人がいて一步一步前進するうちに、徐々に事業を安定させることができました。独立して今で約10年。2023年6月には法人化することもできました。

社員の皆を幸せにしたい—— その思いを力に事業を拡大

——法人化という大きな節目を迎え、これまでを振り返ってみていかがですか。

(佐) 良いことも悪いことも様々な経験をしてきましたが、一番苦しかったのは、法人化の直前に社員たちが一気に10名ほど離れてしまった時ですね。かなりショックでしたが、勤続年数の長い3名

強固な絆を活かして全国展開を目指す！

が残ってくれたんです。私を信じて残ってくれた彼らに感謝を忘れず、必ず幸せにしようと思いを誓いました。

——それはショックですね……。吉家営業課長はその時のメンバーなのですか。(吉) 私は法人化を機に新たに加わった1人なんです。以前は飲食業や塗装業などに携わってまして、社長とは10年ほどの付き合いがありました。

(佐) 彼の技術力の高さは以前から知っていましたし、「法人化するので、良かったら来てもらえませんか」とお声掛けし、快諾していただけたんです。彼が加わってくれた後から急速に体制が立ち直っていき、今では社員も17名に増えました。外国人材の雇用にも取り組んでおり、今後さらに人が増える予定です。事業内容としては一般建築塗装や、一般鉄骨塗装、足場工事を手掛けています。

——建設業界は人材不足と言われていますが、御社にはなぜ人が集まるのでしょうか。(吉) 社長の魅力に惹かれているのではないのでしょうか。守ってくれて、信頼できる経営者はいない中で、そういった魅力が社長にあるのを、若い社員は敏感に感じ取っているんだと思います。

——社員さんを幸せにしたいという社長の気持ちが、伝わっているのですね。御社の強みは、やはり社員さんですか。

(佐) ええ、社員です。特に若手が多く

在籍していることが強みですね。先月も取引先様から「こんなに若手がいる企業は今どき少ないよ。伸びしろがあるね」と褒めていただきました。若い分、機動力があり、フットワークも軽いので、取引先様も現場も全国に広がっています。また、地元でも若手の多い塗装会社が少なく、「手伝ってくれ」とお声掛けいただいていたので、嬉しいです。

(吉) 現場は私共より年上の職人さんが多く、かつては「若者には任せられない」という風潮がありましたが、今はそんな時代ではありませんし、若者たちも周囲に必要とされることで、そこに自分の居場所ができて、意欲ややりがいに繋がります。ですから当社でも若手が輝ける環境づくりに注力しているんですよ。

——若い世代の活躍は、業界全体に好影響を生みそうです。今後についてはどのような展望をお持ちですか。

(佐) 社員を守るためにも、取引先様と引き続き強固な信頼関係を築いて、盤石な地盤づくりを目指します。また、順調に社員数が増えており、全国に取引先様が広がっていることもあって、税理士さんとも話し合い、営業所を各地に増やしていく準備を進めています。この勢いを大切に、事業をさらに成長させていければ嬉しいですね。

(取材 / 2024年3月)



代表取締役
佐々木 龍生



営業課長
吉家 守

株式会社 龍興

北海道苫小牧市宮前町1丁目6番2号

Business

01

一般建築塗装

02

一般鉄骨塗装

03

足場工事一式



COLUMN 人間的な成長を支える

「今の若い世代は衣食住に困っていない。その代わりに、自分の居場所を探して彷徨っているんです」と語る吉家営業課長。その言葉に頷く佐々木社長は、社員との信頼関係を築くために特にコミュニケーションに力を入れており、プライベートな悩みにもなるべく相談に乗るように努めているという。そこで必要に応じてレジャーに誘うなど、普段とは違う状況をつくり、悩みを話しやすく、アドバイスを相手に受け入れてもらいやすい雰囲気づくりを行う社長。その中で、目に見えない資産——勉強を怠らない姿勢や、多くの人と交流して視野を広げる大切さなども説き、若手の人間的な成長を後押ししているという。



After the Interview

「長年夢や目標を抱いていても、実際に行動に移せる人は少ない中で、起業を実現し、法人化も果たされた佐々木社長。並々ならぬ努力を重ねられたことが窺えますし、その力になった社員さんへの思いの強さは計り知れません。これからも周囲の方を大切に歩み続けてくださいね！」
NANA・談